

	<p>つくのちゅう</p> <h1>津久野中だより</h1>	<p>令和 8 年 10 月 30 日 堺市立津久野中学校 校長 草島 進之介</p>
---	--------------------------------	---

ちがいを豊かに ～つくし学級合同スポーツ大会随記～

先日、つくし学級の生徒たちと一緒に「堺市立中学校支援学級・特別支援学校合同スポーツ大会」に参加してきました。そのときに、いくつか心に残る場面がありましたので、今回はそのことを書き記してみます。

校外学習などで生徒を引率しながら歩くときは、普段一人で歩くときよりもゆっくりになります。ときには立ち止まって、生徒の様子を見守ったり、声をかけたりすることもあります。今回は切符を購入する練習をする生徒や、エレベーターを利用する生徒もいたので、さらに心に余裕をもって行動していました。すると、駅構内を道行く人たちの中に、さまざまな方々がいることにあらためて気がつきました。電動車いすに義足を乗せながらホームを進んでおられる方。白杖を手にした女性と、その隣でヘルプマークをカバンにつけた男性が、手をつないで歩いておられる姿。ベビーカーを押しながら、小さな妹さんをあやすお母さんの姿もありました。

そばに介助する人はおらず、ご自身たちだけで移動なさっているので、はたから見ていると大きな困りごとはないように見えます。しかし、その方々の行きつく先に目を向けると、エレベーターは一カ所で、並んで待たなければ乗ることはできず、スロープまでの道のりには小さな段差が残っていました。また、混雑した車内では座ることがままならない状況もありました。もう少しどうにかならないかな——。そんな思いを持ちながらスポーツ大会の会場に入ると、フロアには大会のために用意された道具類がズラリ勢ぞろい。特に印象深かったのは、誰でも簡単にボールを投げることができる滑り台が用意されたボウリング、通常よりもリングを低くしたバスケットゴール、特性に応じて投げる位置を選ぶことができるストラックアウトなど、参加する生徒の「ちがい」に寄り添った工夫が随所にあつたことです。そして、工夫があれば、障害だけでなく年齢や性別などの「ちがい」を当たり前のものとして、誰もが一緒にスポーツを楽しみ、ともに応援しあえるんだと強く感じました。

大阪・関西万博では、視覚障害のある人がひとりで安全に移動できるよう導入された「AI スーツケース」が話題となりました。開発に携わった方は、中学生の頃の事故で視力を失いましたが、その経験から社会の課題に目を向け、研究を重ねてこの発明を実現されたそうです。

今回私が駅構内で感じたことも、近い将来、誰かの工夫や新しい発明によって解決されていくのかもしれませんが、そんな大きなことはできなくても、日常にある「ちがい」に気づくアンテナをもつこと。そして、「ちがい」を「きっかけ」ととらえて、自分の周りの人やものとかかわり方を工夫することは誰にでもできるはずです。お互いの得意なことや苦手なことを認め合うこと。自分のできることで誰かのできないことをサポートすること。また、そのサポートを素直に受け入れ、感謝すること。そんな心配りや支え合いを一つひとつ積み重ねていくことが、自分にとっても、ともに過ごす周りの人にとっても、居心地のよい場所をつくることにつながるはずです。そして、そんな人が学級・学年・学校にどんどん増えていけば、津久野中学校は「一人ひとりみんなちがう。だからこそ、いい学校」になっていく——。

つくし学級の生徒や先生方と笑顔でおいしい昼食を囲みながら、そんなことを考えていました。

白熱の体育大会

10月23日（金）、無事に体育大会を開催することができました。笑顔あり、真剣な表情ありの個人種目。生徒はもちろん担任や学年の先生も大盛り上がりの学年種目。そして、3年生のデンマーク体操とダンスは、練習の成果が見事に発揮され、見ている誰もが感動する出来栄でした。また、応援する姿や声援も素晴らしく、さまざまな係業務を担当してくれた生徒も活躍してくれていて、本当に大成功の体育大会でした。この成果は普段の学校生活や部活動などにもつながっていくでしょう。もちろん、文化活動発表会での合唱や舞台発表・展示発表も大いに期待していますよ。

進路に向けて

3年生は、いよいよ進路について具体的に考える時期となりました。生徒の皆さんには、自分の将来の夢や希望を大切にしながら、家族と十分に話し合い、自分自身でもよく調べ、考え、「この学校に進んでよかった」と思える進路を選んでほしいと思います。学校では、11月に進路懇談を予定しています。この懇談では、お子様、保護者の皆様、学校がともに進路について考え、具体的な進路先について相談していきたいと考えています。保護者の皆様には、ご多用のところ恐縮ですが、ご来校いただきますようお願いいたします。また、大阪府外の高等学校等への進学を希望される場合や、スポーツ・文化活動等による推薦入試を検討されている場合、大阪府公立高等学校入学者選抜において特別な配慮を必要とする場合など、不安なことやご心配なことがありましたら、早めに学校までご相談ください。学校と家庭が連携しながら、お子様の進路実現に向けて支援してまいります。

11月の主な行事予定

- 11月 2日 第2回実力テスト（3年）
- 6日 文化活動発表会
- 7日 子どもカーニバル
- 9日 連合音楽会（2年代表クラス出場）
- 10日 各種委員会
- 12日 セクシャルマイノリティ研修（1年）
- 13日 生徒議会
- 16日、18日～24日 進路懇談（3年）
- 17日 小学生授業・部活動体験
- 20日 命の授業（1年）、つくの井戸端
- 25日～27日 期末テスト
- ※12/16～22 個人懇談
- ※12/24 終業式